

第2章 子育て家庭を取り巻く環境について

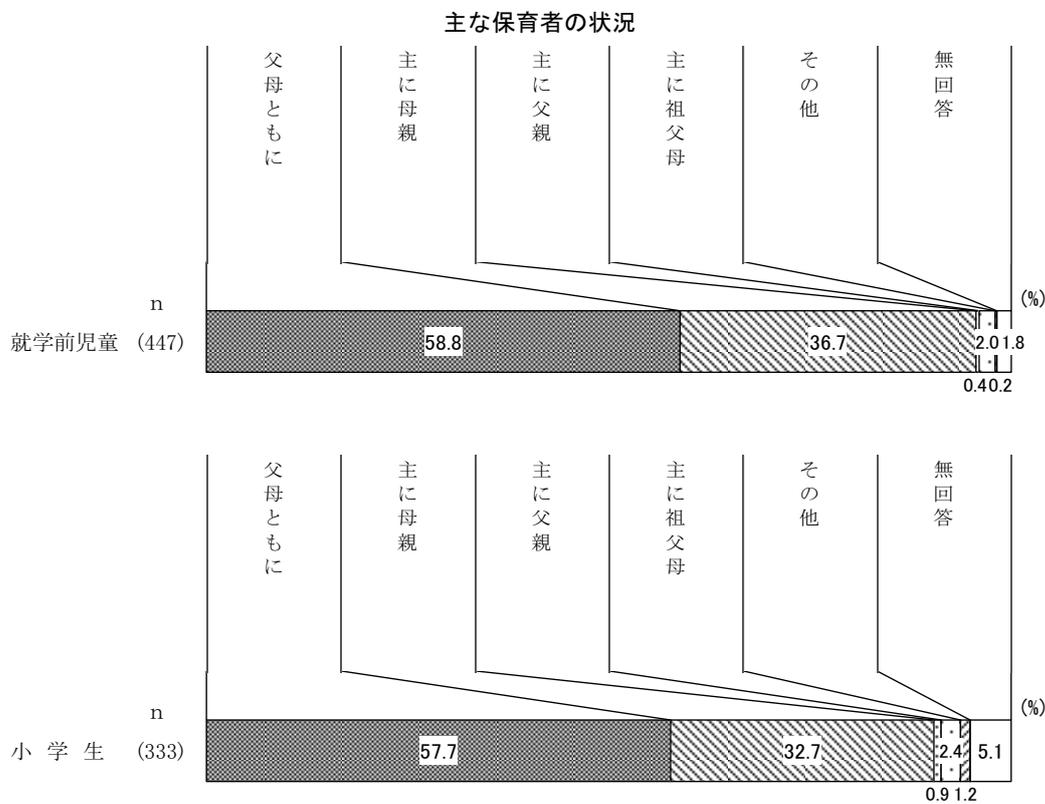
1. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 主な保育者と親族等協力者の状況

○主な保育者の状況をみると、両者ともに「父母ともに」（就学前児童 58.8%・小学生 57.7%）と「主に母親」（就学前児童 36.7%・小学生 32.7%）が大半を占めている。

【就学前児童 問6】【小学生 問6】

宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。（あてはまる番号1つに○）

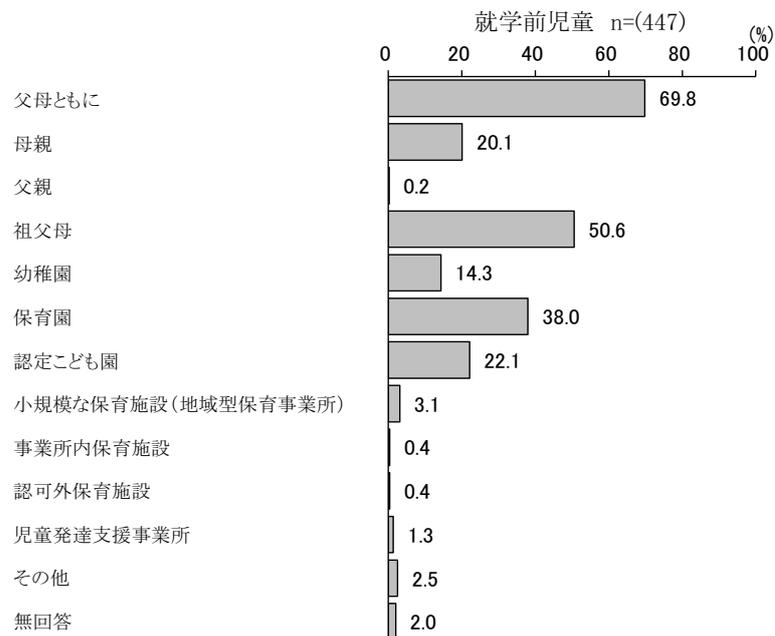


○日常的に子育てに関わっている方（施設含む）をみると、「父母ともに」（69.8%）、「祖父母」（50.6%）、「保育園」（38.0%）、「認定こども園」（22.1%）、「母親」（20.1%）の順に多くなっている。

【就学前児童 問7】

宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

日常的に子育てに関わっている方（施設含む）



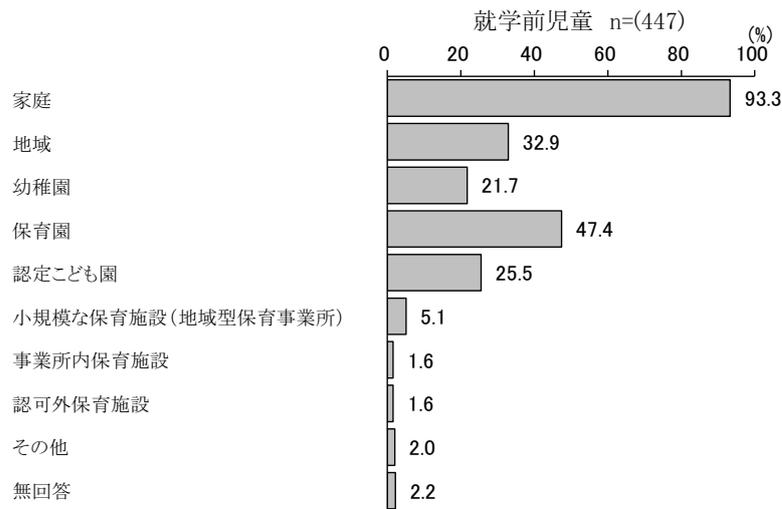
○子育てに影響を与える環境をみると、「家庭」(93.3%)が最も多く、以下「保育園」(47.4%)、「地域」(32.9%)、「認定こども園」(25.5%)、「幼稚園」(21.7%)の順になっている。

【就学前児童 問8】

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

子育てに影響を与える環境

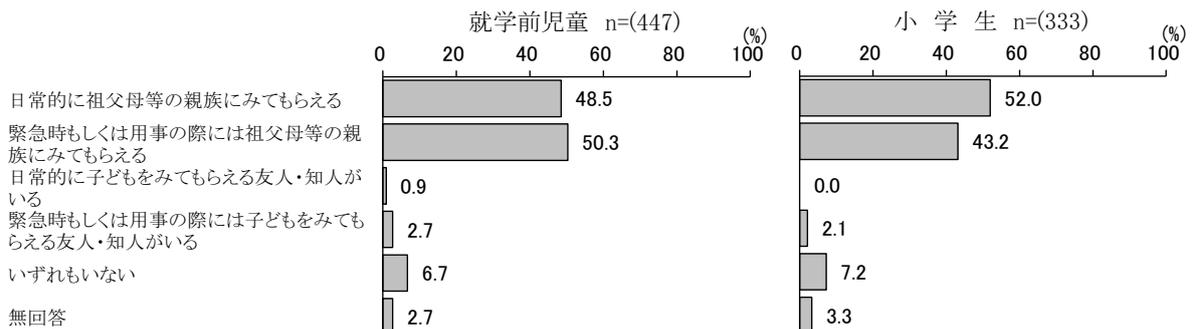


○主な親族等協力者の状況をみると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(就学前児童 48.5%・小学生 52.0%)、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(就学前児童 50.3%・小学生 43.2%)が上位2項目になっている。

【就学前児童 問9】【小学生 問7】

日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

主な親族等協力者の状況



○祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考えをみると、「(祖父母等の親族の) 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、子どもをみてもらえる」(就学前児童 56.8%・小学生 55.8%) が最も多く、50%以上の方が安心して子どもを預けられる環境があると回答している。一方、「(祖父母等の親族の) 時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(就学前児童 26.3%・小学生 24.8%)、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(就学前児童 25.6%・小学生 26.9%) と心配や心苦しさを感じている方も一定数いる。

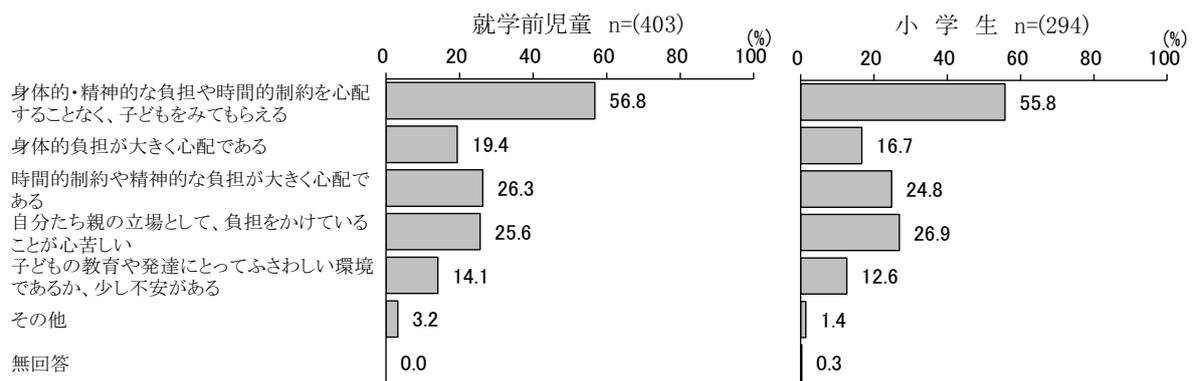
【就学前児童 問9-1】【小学生 問7-1】

問9 (小学生 問7) で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え



○友人・知人に子どもをみてもらうことへの考えをみると、就学前児童では「(友人・知人の)身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、子どもをみてもらえる」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」ともに 61.5% が最も多くなっている。小学生では「(友人・知人の)身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、子どもをみてもらえる」(57.1%) が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(42.9%) となっている。

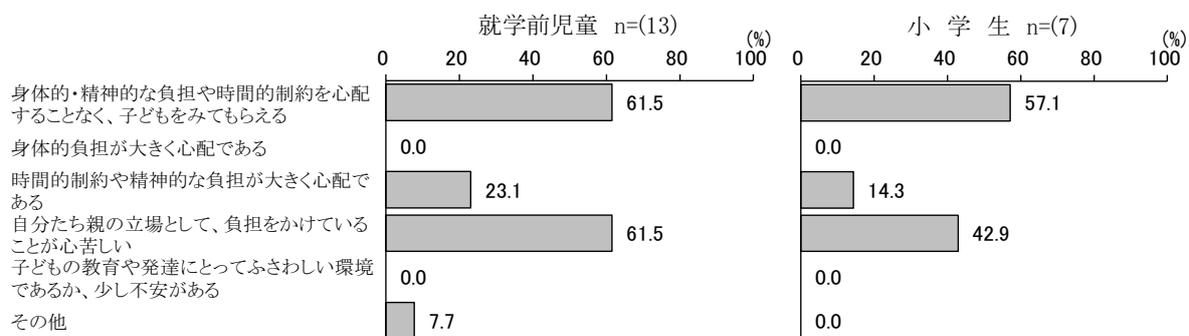
【就学前児童 問9-2】【小学生 問7-2】

問9 (小学生 問7) で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

友人・知人に子どもをみてもらうことへの考え

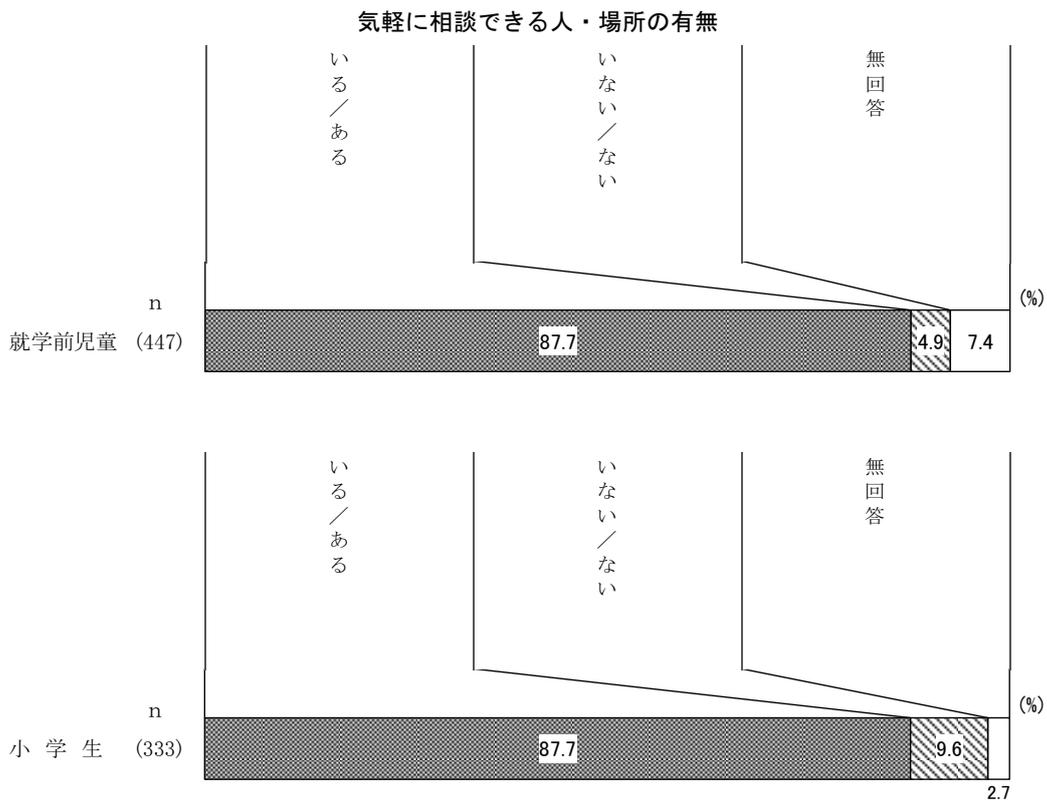


(2) 子育てに関する相談先

○気軽に相談できる人・場所の有無をみると、「いる／ある」(就学前児童87.7%・小学生87.7%)とほとんどの方が「いる」または「ある」と回答している。一方、「いない／ない」は小学生が9.6%と、就学前児童(4.9%)を4.7ポイント上回っている。

【就学前児童 問10】【小学生 問8】

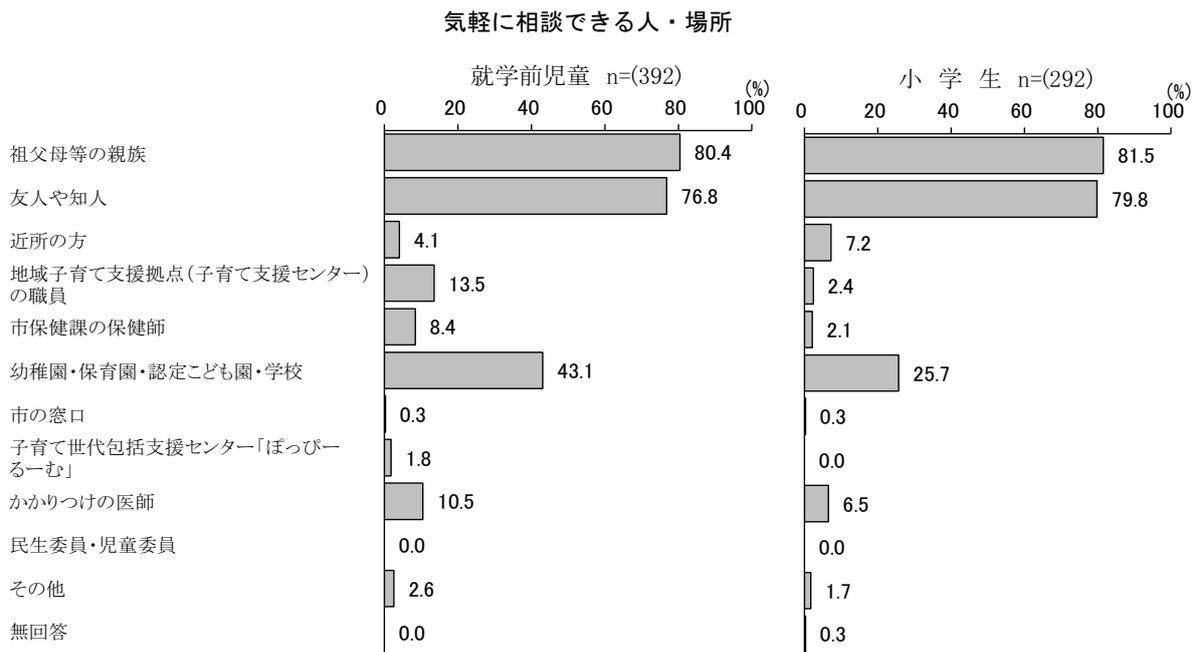
宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる方はいますか。また、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)



○気軽に相談できる人・場所をみると、「祖父母等の親族」(就学前児童 80.4%・小学生 81.5%)、「友人や知人」(就学前児童 76.8%・小学生 79.8%)、「幼稚園・保育園・認定こども園・学校」(就学前児童 43.1%・小学生 25.7%)の順になっている。

【就学前児童 問10-1】【小学生 問8-1】

問10(小学生 問8)で「いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)



<村山市の地域子育て支援拠点(子育て世代包括支援センター・子育て支援センター)>

事業名	事業内容
子育て世代包括支援センター「ほっぴーるーむ」(保健センター内)	妊産婦のみなさんや子育て中のママが安心して楽しく子育てできるよう応援する相談窓口です。助産師の資格を持つ母子保健コーディネーターが、妊娠・出産・育児に関する一貫した相談支援を行います。母子保健コーディネーターをはじめ、保健師、管理栄養士もあわせてきめ細やかなサポートをしていきます。※利用は無料。
子育て支援センターポポーのひろば(甌葉プラザ内)	【NPO 法人ポポーのひろば】 毎月または季節に応じて、親子で参加出来る楽しいイベントを開催しています。
子育て支援センターぐんぐん(戸沢保育園内)	【(福)敬愛信の会】 育児に関する相談のほか育児講座、地域に出向いて子育て家庭対象のイベントなどを開催します。
子育て支援センターどんぐり広場(認定こども園ふたば大高根保育園内)	【(福)ふたば保育園】 子育て相談窓口、屋内遊び場、育児講座、地域交流の場など充実した内容です。

2. 保護者の就労状況について

(1) 母親の就労状況

○母親の就労状況をみると、就学前児童では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(49.9%)、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(24.4%)を合わせた74.3%の方が就労し、現在産休・育休・介護休業中の方が10.8%となっている。小学生では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(55.3%)、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(30.3%)を合わせた85.6%の方が就労し、現在、産休・育休・介護休業中の方が4.5%と就学前児童と比べて減少している。

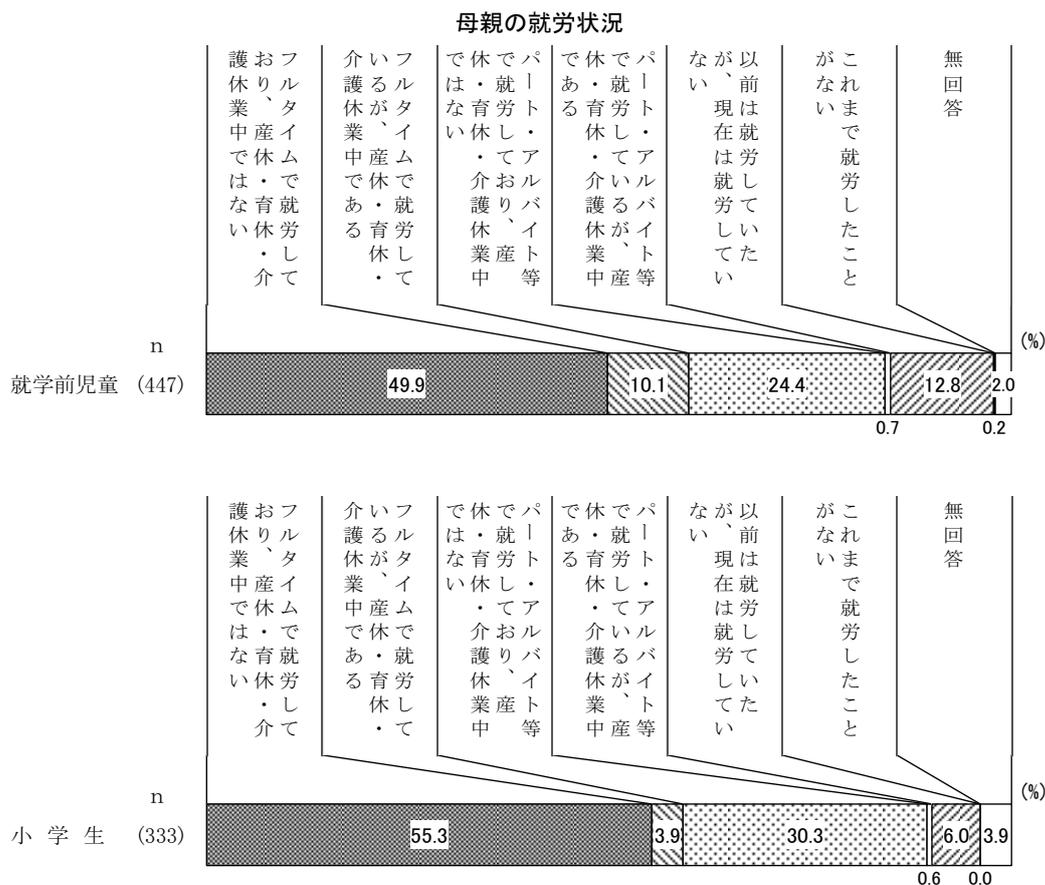
【就学前児童 問11】【小学生 問9】

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※ひとり親の方は、ご自身に関する設問にのみお答えください。

(1) 現在の就労状況についてお答えください。

(母親、父親のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)



○母親の就労日数・就労時間をみると、就労日数は1週当たり「5日」（就学前児童 74.2%・小学生 78.7%）が最も多く、就労時間は1日当たり「8～9時間」（就学前児童 58.4%・小学生 53.7%）が最も多くなっており、就学前児童と小学生の母親で大きな違いはみられない。

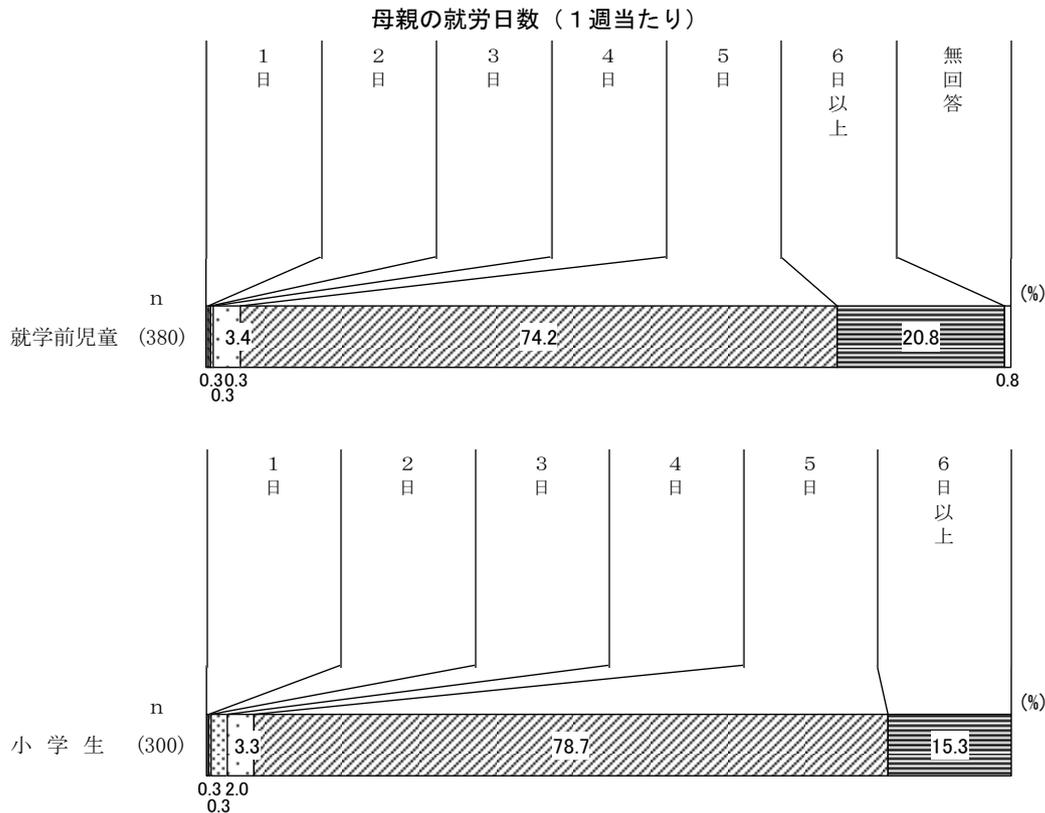
(2)-1 (1)で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

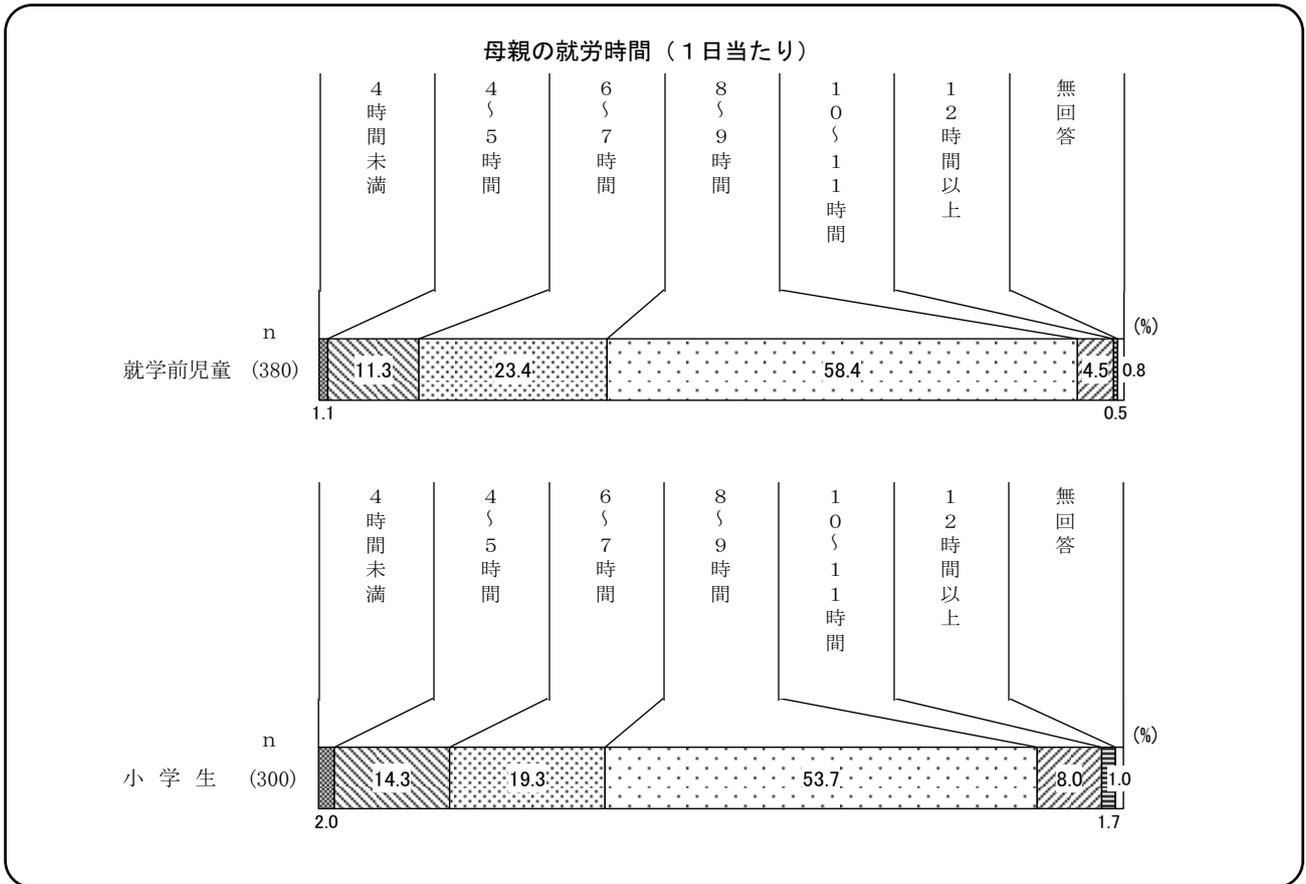
週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。





○母親の出勤時間・帰宅時間をみると、出勤時間は「8時台」（就学前児童 53.9%・小学生 50.3%）、「7時台」（就学前児童 30.3%・小学生 27.3%）の順に多く、帰宅時間は「18～19時台」（就学前児童 58.4%・小学生 52.3%）、「16～17時台」（就学前児童 30.8%・小学生 27.0%）の順になっており、大きな違いはみられない。なお、帰宅が20時以降になる母親は就学前児童では3.5%、小学生では10.7%となっている。

(2)-2 (1)で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

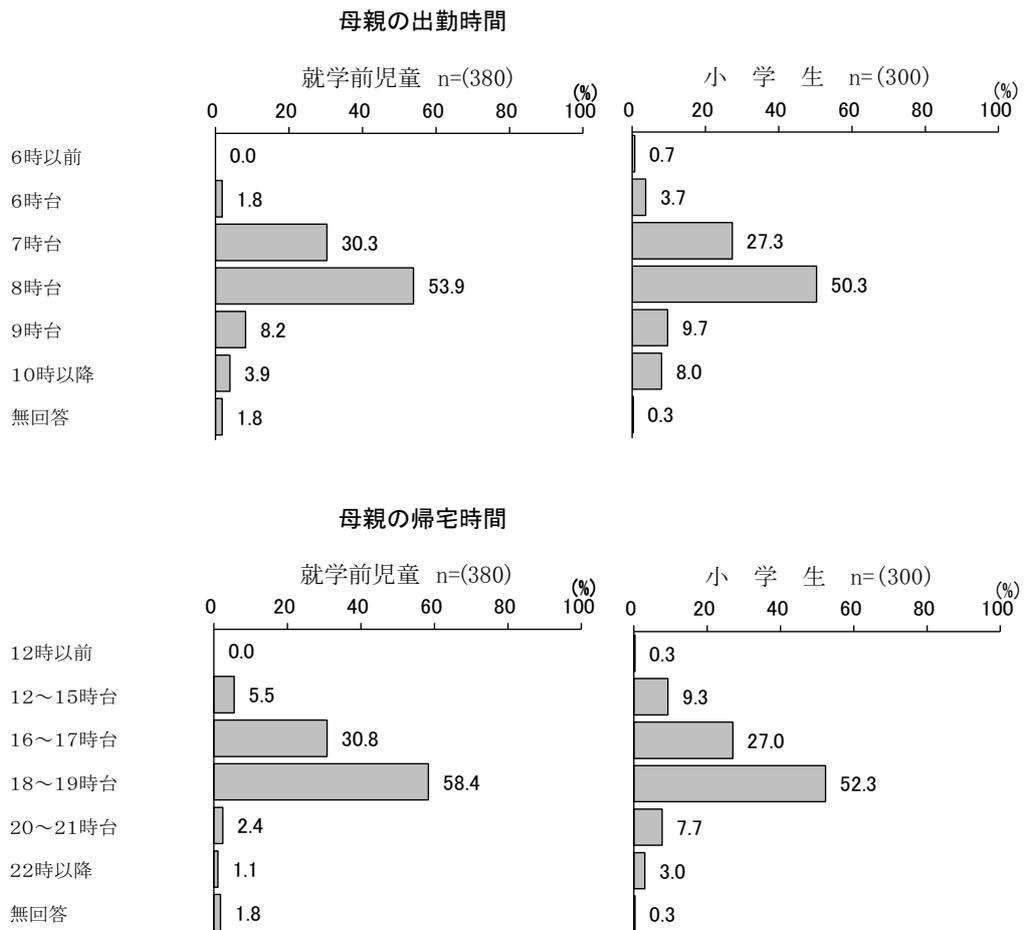
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。

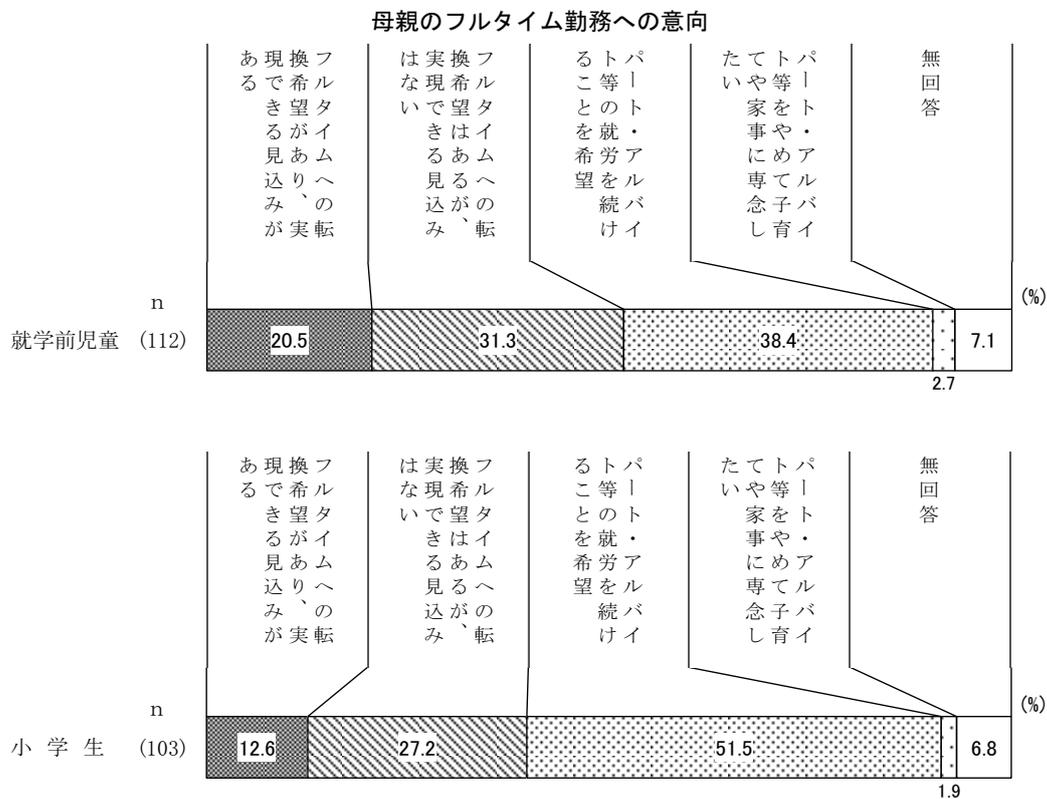


○パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイム勤務への意向をみると、両者ともに「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」（就学前児童 38.4%・小学生 51.5%）が最も多くなっている。また、就学前児童ではフルタイム勤務を希望する方は 51.8%となっているが、実現できる見込みのある方は 20.5%にとどまっている。一方、小学生でもフルタイム勤務を希望する方は 39.8%となっているが、実現できる見込みのある方は 12.6%と前者と同様に希望者のごく一部にとどまっている。

【就学前児童 問12】【小学生 問10】

問11の(1)(小学生 問9(1))で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13(小学生 問11)へお進みください。

(1) フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)



○現在は就労していないまたはこれまで就労したことがない母親の今後の就労希望をみると、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」（就学前児童 48.3%・小学生 55.0%）が最も多く、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」（就学前児童 37.9%・小学生 25.0%）を上回っている。なお、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は、小学生の母親が 20.0%と就学前児童の母親（13.8%）を上回っている。

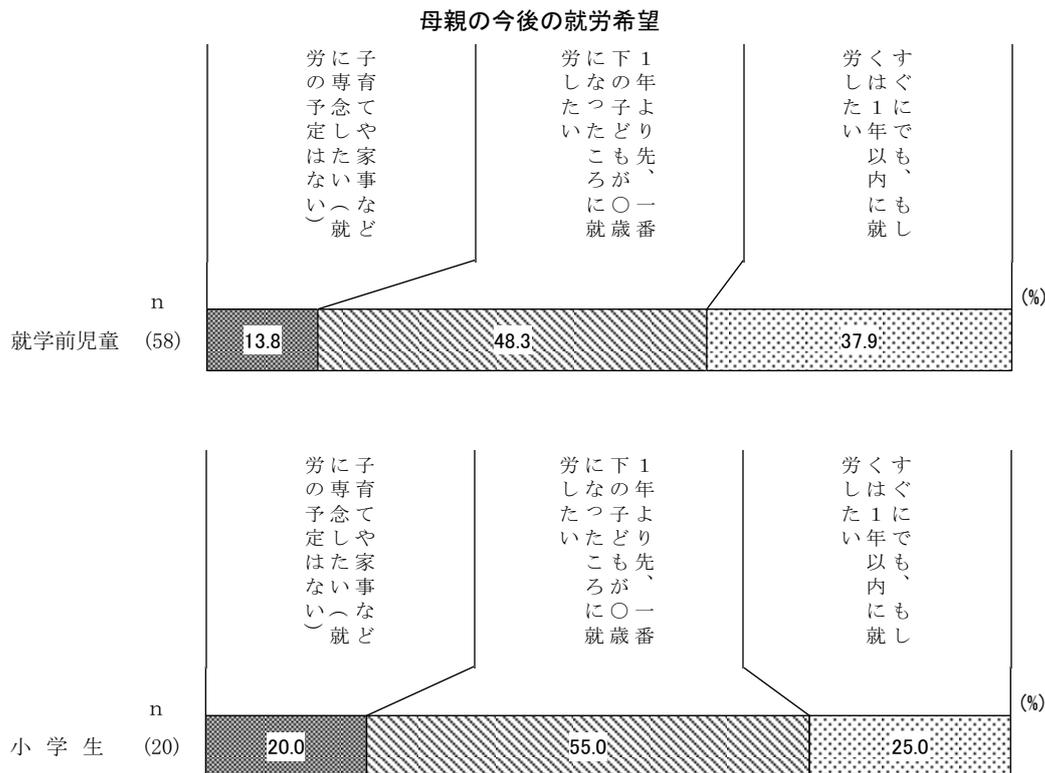
○1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい母親の就労希望時の末子の年齢をみると、就学前児童では「0～3歳」（60.7%）、「6～8歳」（21.4%）、「4～5歳」（17.9%）の順になっている。小学生では「0～3歳」「6～8歳」（ともに 36.4%）、「9～11歳」（18.2%）、「4～5歳」（9.1%）の順になっている。

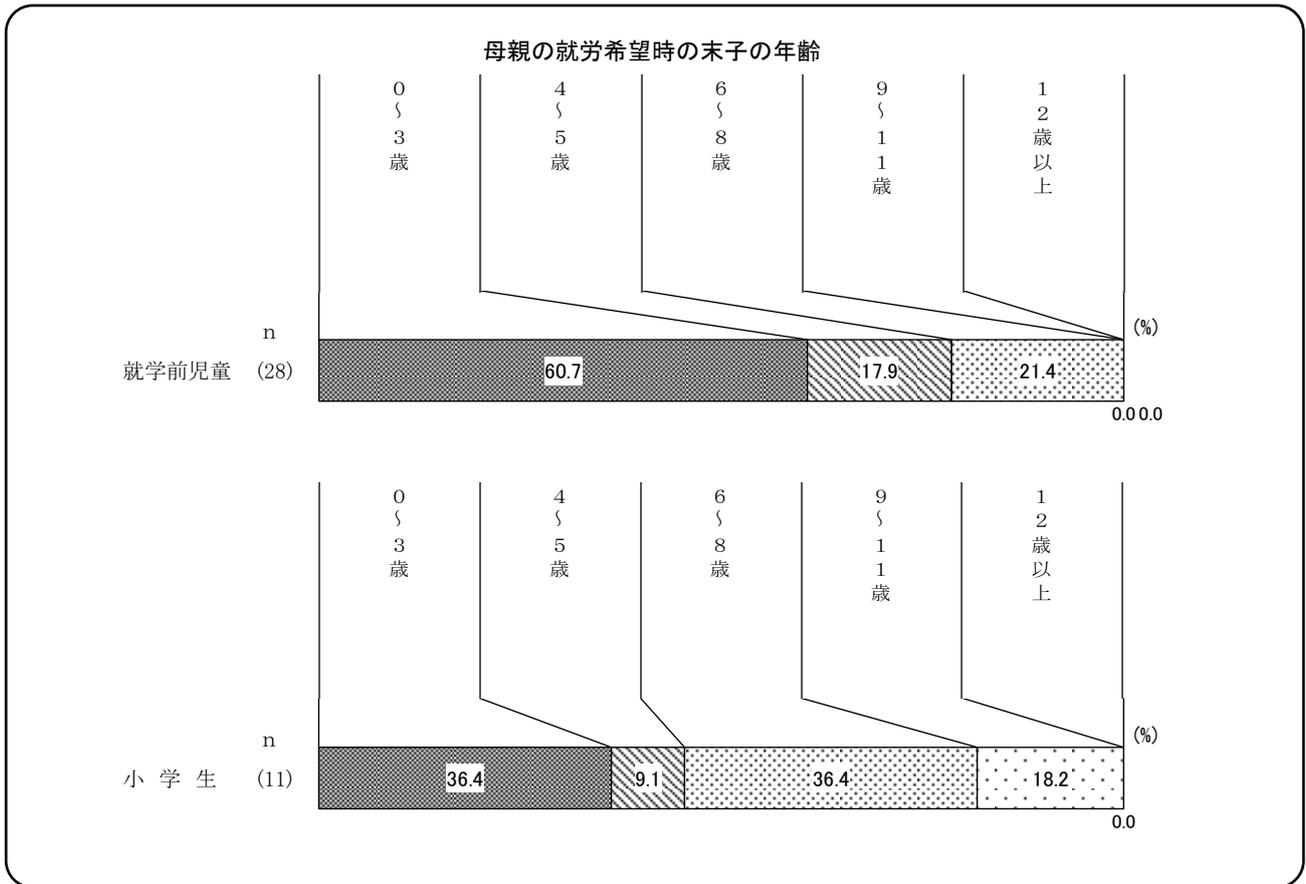
【就学前児童 問13】【小学生 問11】

問11の(1)（小学生 問9(1)）で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14（小学生 問12）へお進みください。

就労したいという希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

※該当する口内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。





○就労希望のある母親の希望する就業形態をみると、両者ともに「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」（就学前児童 52.0%・小学生 81.3%）、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」（就学前児童 40.0%・小学生 12.5%）の順となっているが、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」は就学前児童が小学生を大きく上回っている。

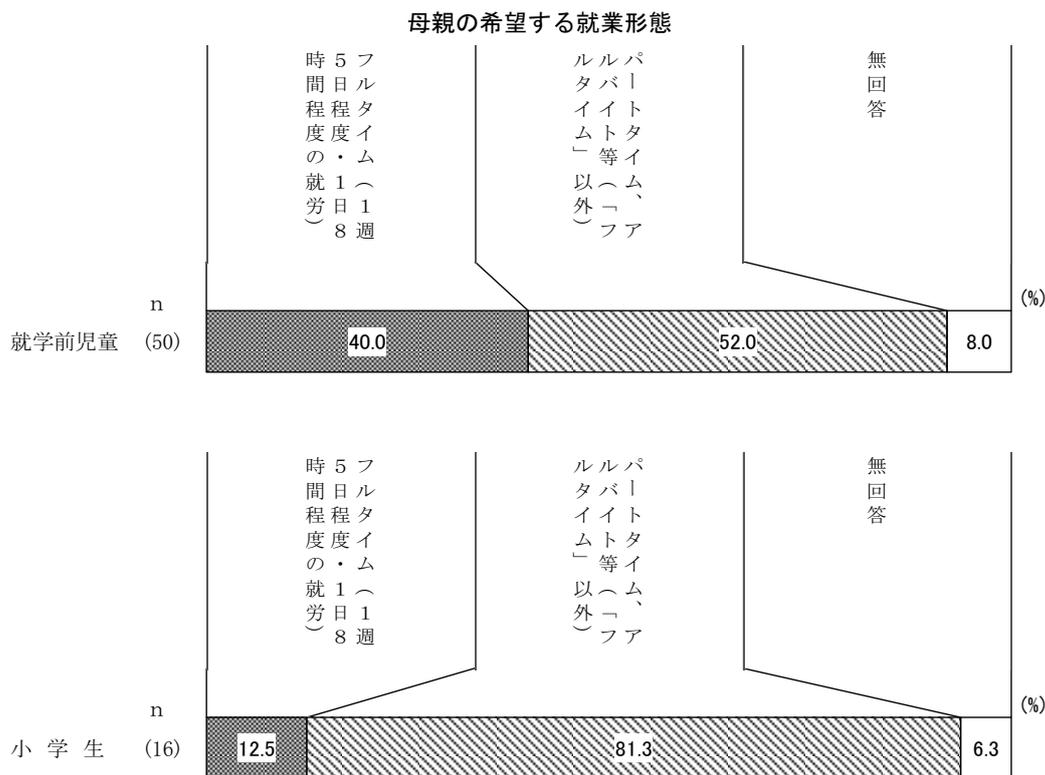
○就労希望の母親のパートタイム、アルバイト等での希望就労日数・希望就労時間をみると、希望就労日数は1週当たり「5日」（就学前児童 57.7%・小学生 69.2%）が最も多く、希望就労時間は1日当たり「4～5時間」（就学前児童 61.5%・小学生 69.2%）が最も多く、以下「6～7時間」（就学前児童 23.1%・小学生 30.8%）となっている。

【就学前児童 問13-1】【小学生 問11-1】

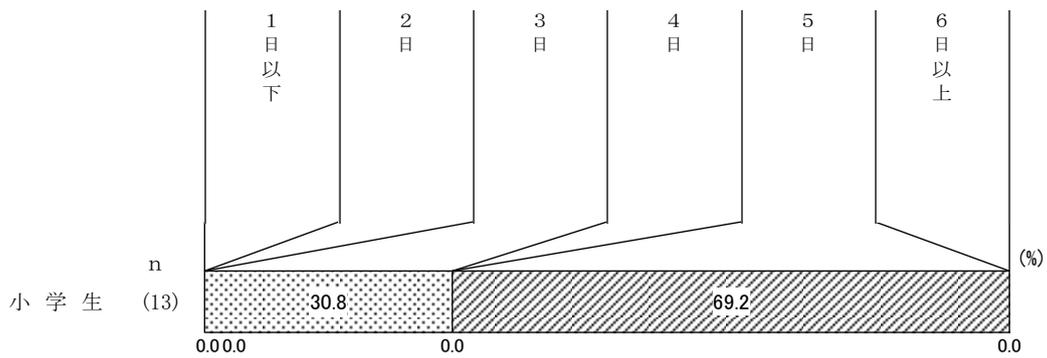
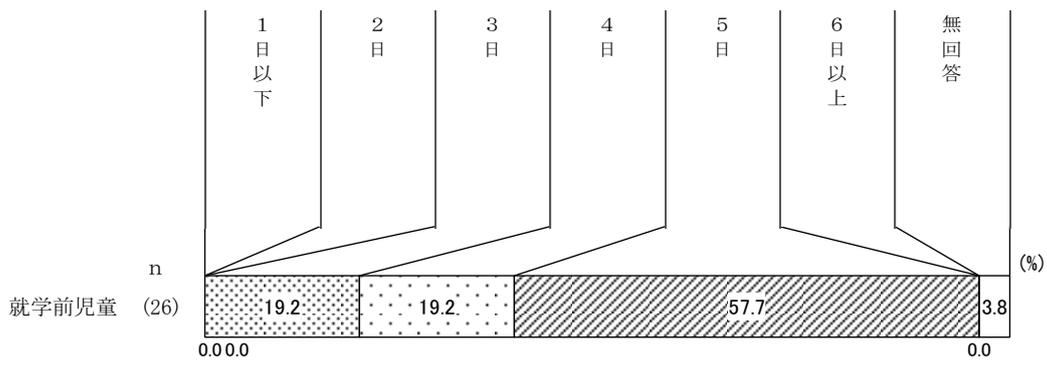
問13（小学生 問11）で「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」または「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14（小学生 問12）へお進みください。

希望する就労形態をお答えください。（あてはまる番号1つに○）

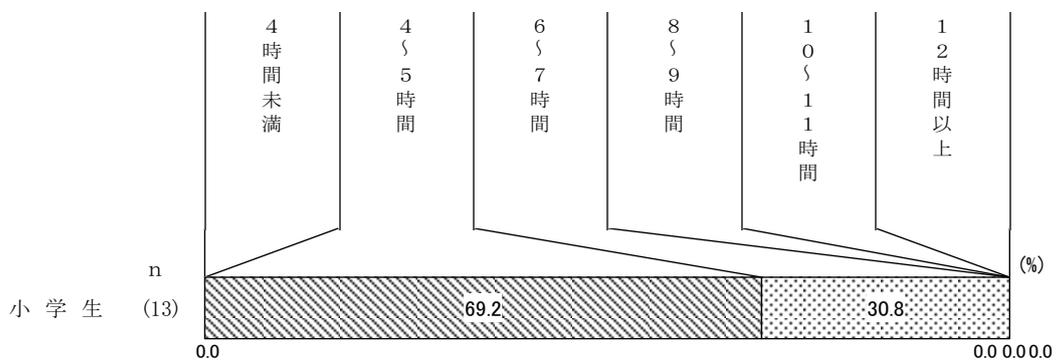
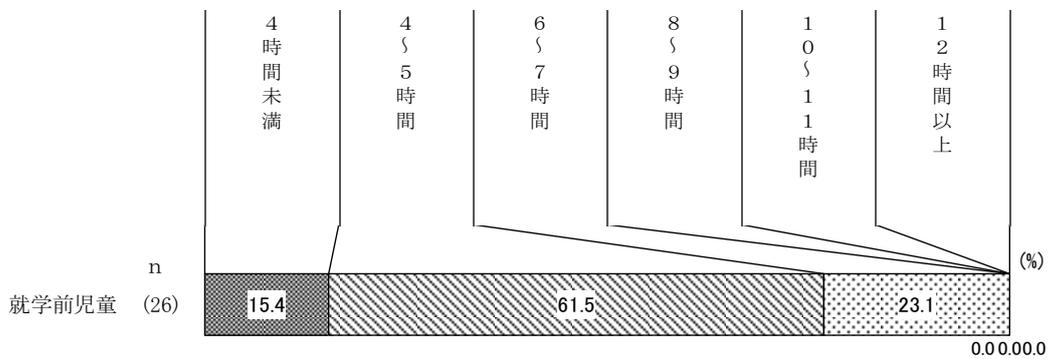
※該当する口内には数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。



パートタイム、アルバイト等での母親の希望就労日数（1週当たり）



パートタイム、アルバイト等での母親の希望就労時間（1日当たり）



(2) 父親の就労状況

○父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」（就学前児童 92.8%・小学生 88.9%）が圧倒的に多くなっている。

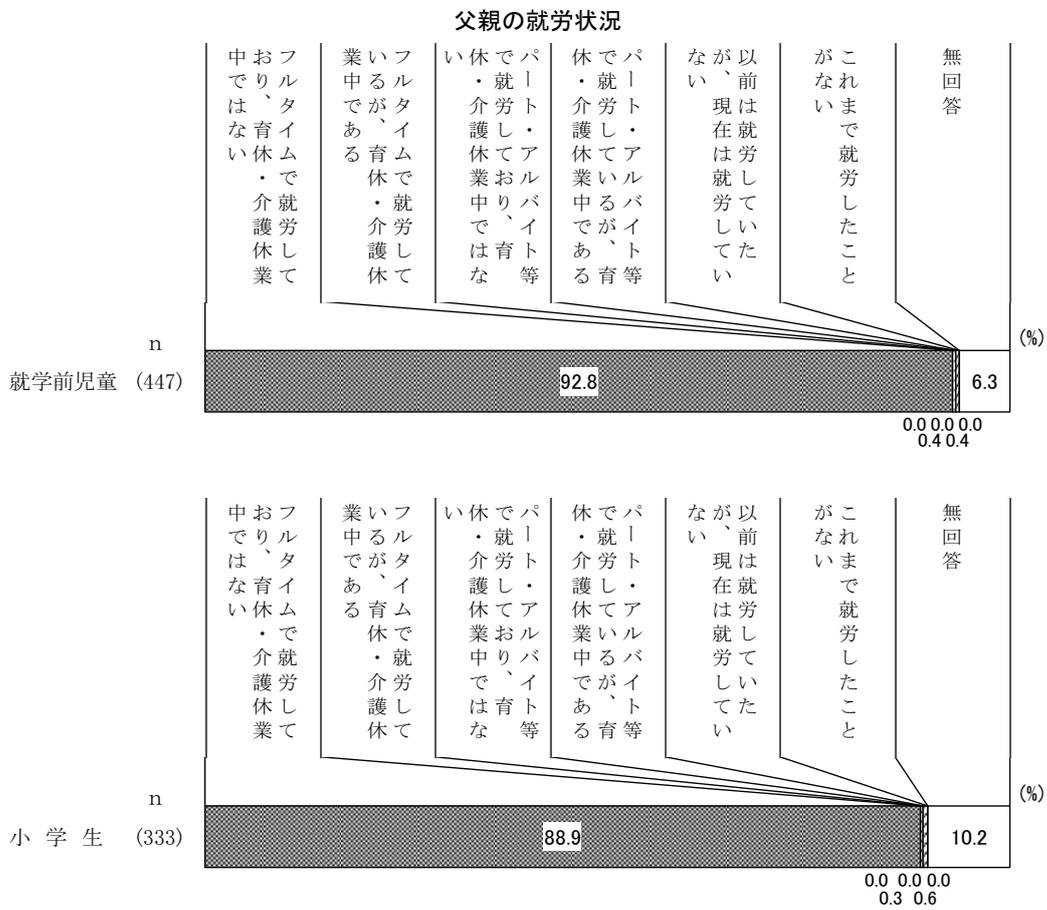
【就学前児童 問11】【小学生 問9】

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※ひとり親の方は、ご自身に関する設問にのみお答えください。

(1) 現在の就労状況についてお答えください。

(母親、父親のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)



○父親の就労日数・就労時間をみると、就労日数は1週当たり「5日」（就学前児童 50.6%・小学生 56.6%）と「6日以上」（就学前児童 45.6%・小学生 41.1%）に二分され、就労時間は1日当たり「8～9時間」（就学前児童 58.3%・小学生 55.2%）が最も多く、10時間以上の就労者も約30%以上であるなど、大きな違いはみられない。

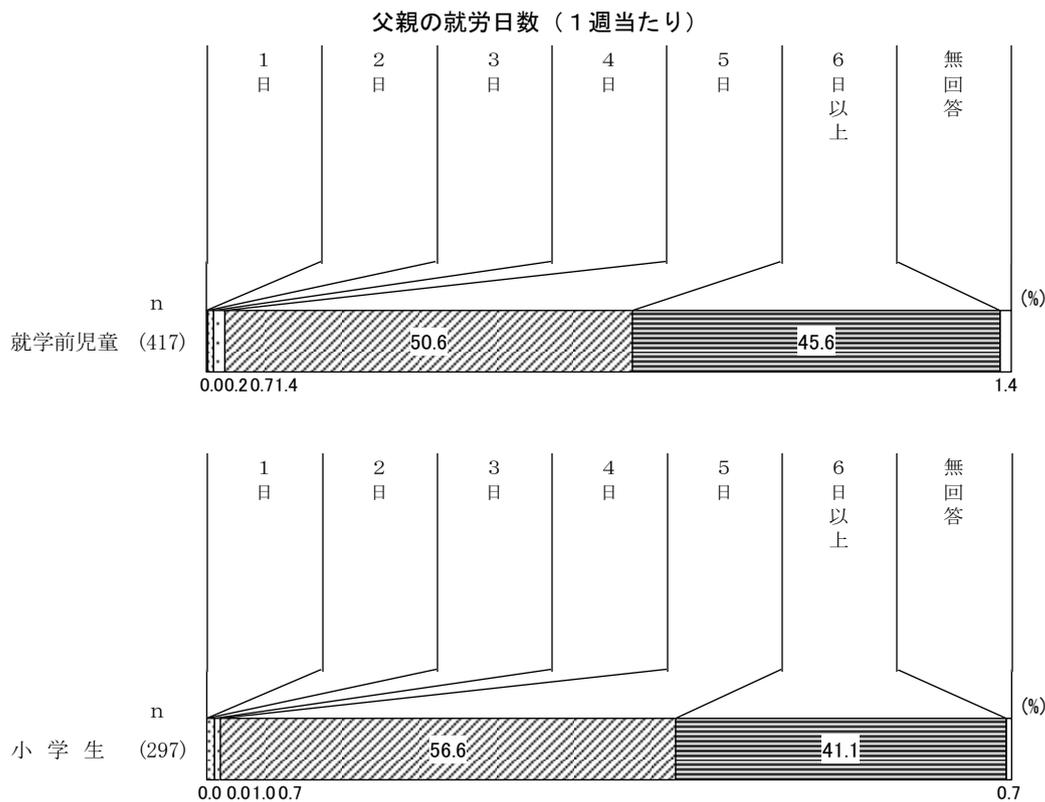
(2)-1 (1)で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

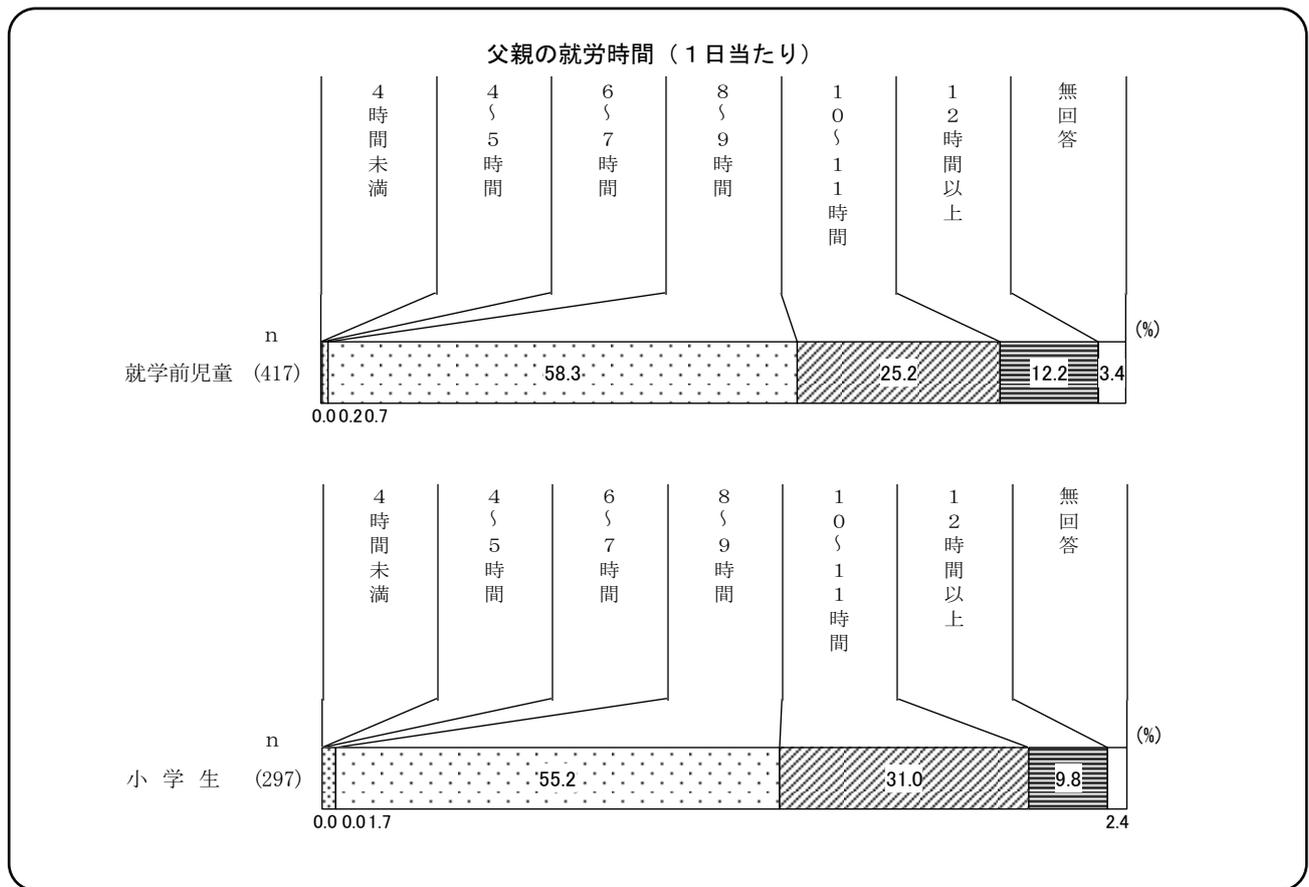
週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。





○父親の出勤時間・帰宅時間をみると、出勤時間は「7時台」（就学前児童 43.9%・小学生 44.4%）、帰宅時間は「18～19時台」（就学前児童 56.8%・小学生 50.8%）が最も多く、ピーク時間は重なっている。なお、帰宅時間が20時以降になる父親は就学前児童では33.6%、小学生では38.7%となっており、母親に比べて帰宅時間が遅い方が多い。

(2)-2 (1)で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

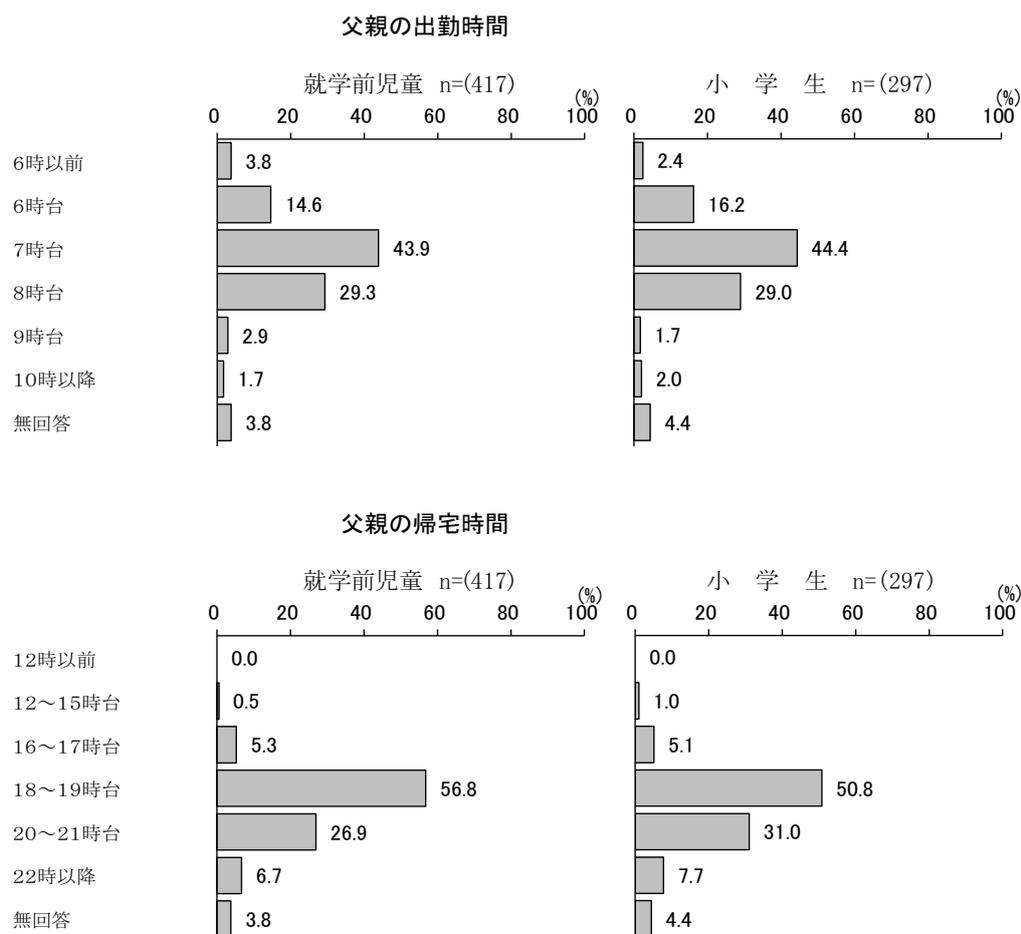
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。

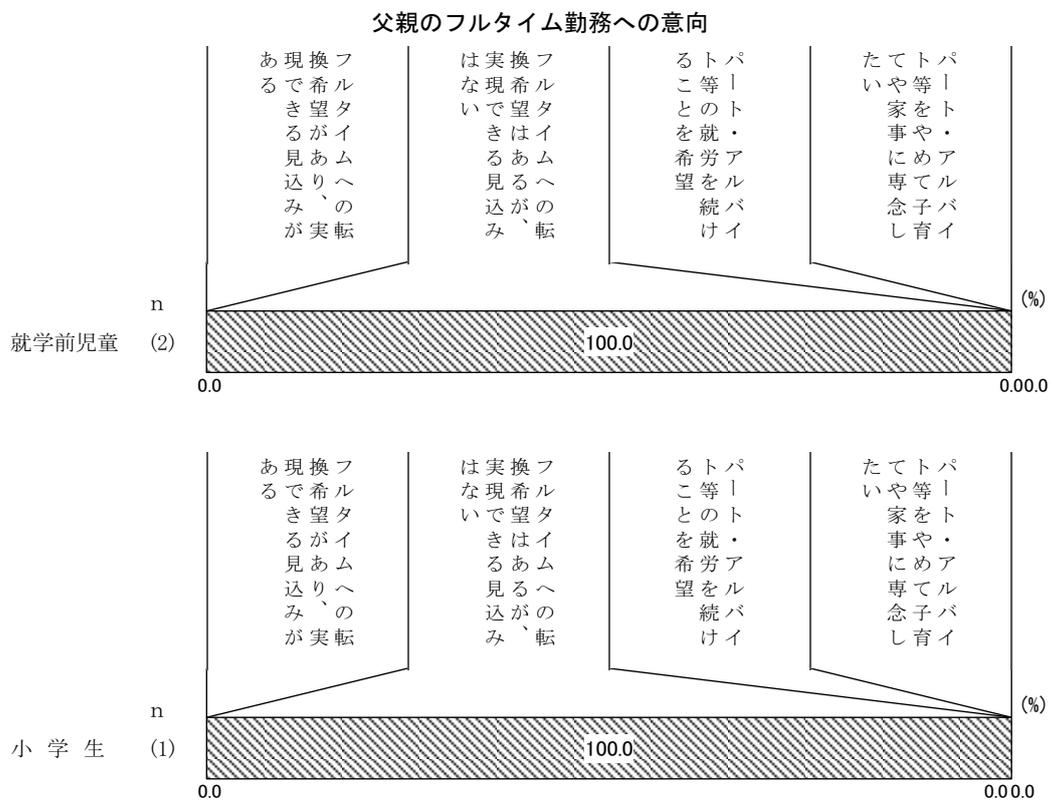


○パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイム勤務への意向をみると、就学前児童の父親（2名）、小学生の父親（1名）全員が「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と回答している。

【就学前児童 問12】【小学生 問10】

問11の(1)（小学生 問9(1)）で「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13（小学生 問11）へお進みください。

(1) フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)



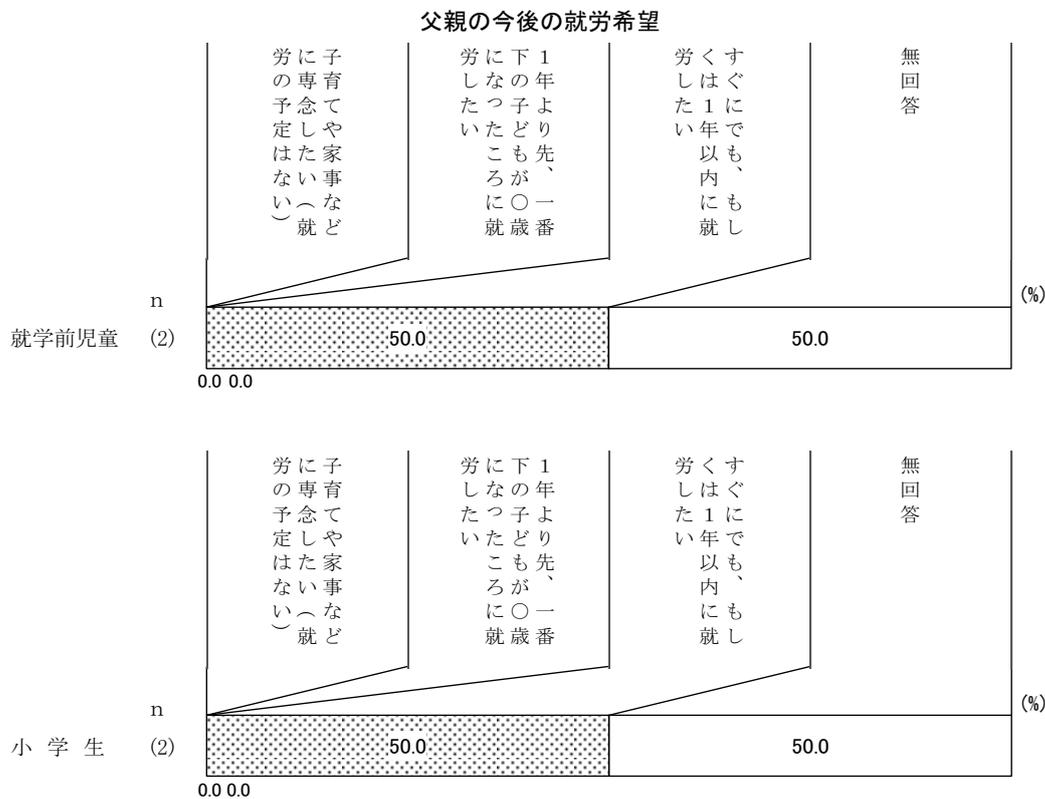
- 現在は就労していないまたはこれまで就労したことがない父親の今後の就労希望をみると、両者ともに該当者である2名のうち1名が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答している。
- 1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい父親の就労希望時の末子の年齢については該当者はいなかった。

【就学前児童 問13】【小学生 問11】

問11の(1)(小学生 問9(1))で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14(小学生 問12)へお進みください。

就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

※該当する口内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。



父親の就労希望時の末子の年齢

就学前児童、小学生ともに該当者はなし

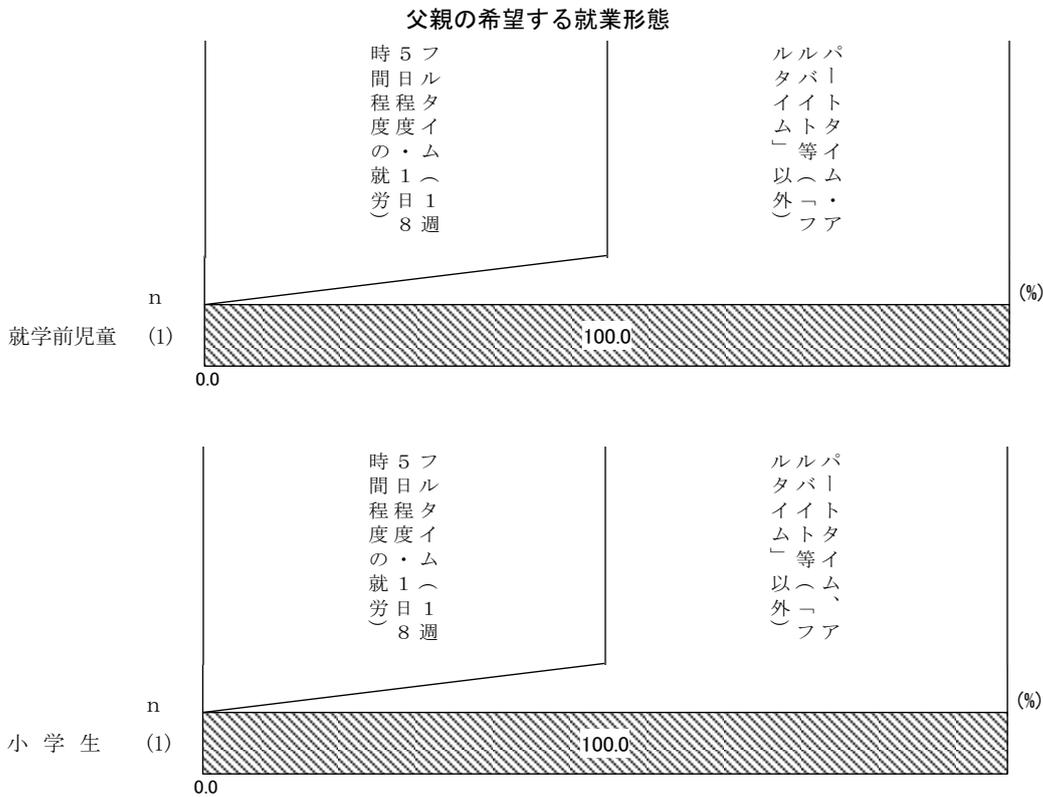
○すぐにも、もしくは1年以内に就労したい父親の希望する就業形態をみると、両者ともに該当者は1名で「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」と回答している。希望就労日数・希望就労時間をみると、希望就労日数は2名とも1週当たり「5日」と回答しており、希望就労時間は1日当たり「4～5時間」（就学前児童の父親）、「8～9時間」（小学生の父親）となっている。

【就学前児童 問13-1】【小学生 問11-1】

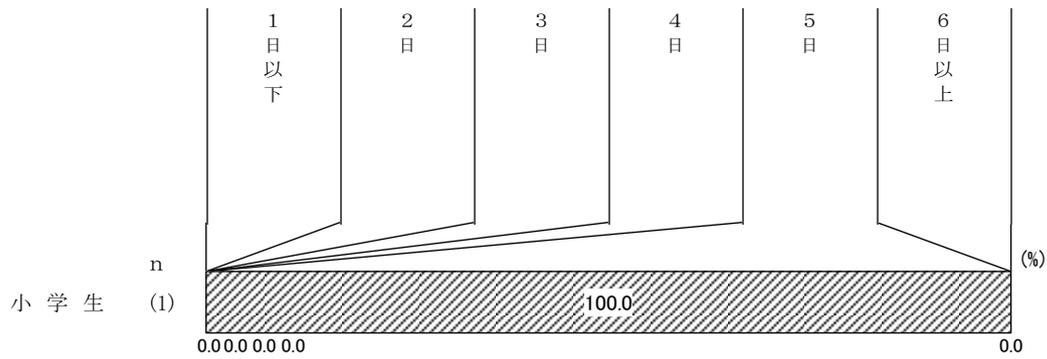
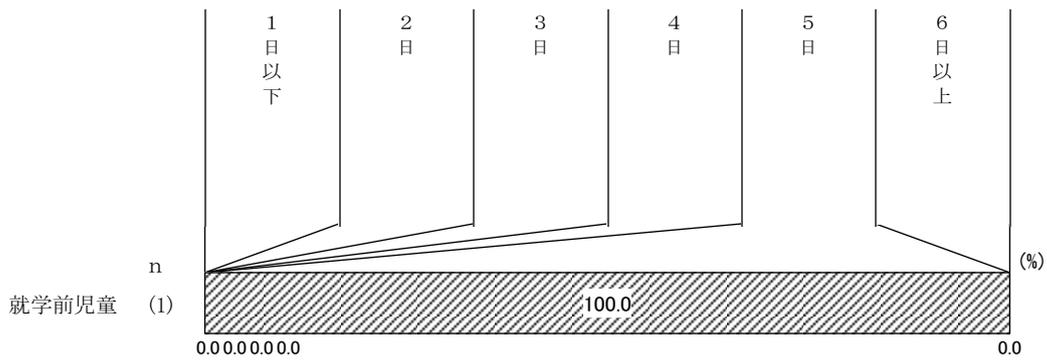
問13（小学生 問11）で「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」または「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14（小学生 問12）へお進みください。

希望する就労形態をお答えください。（あてはまる番号1つに○）

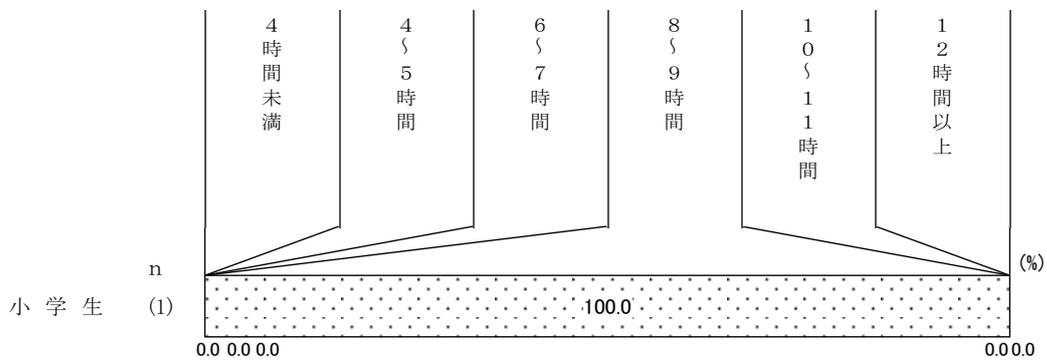
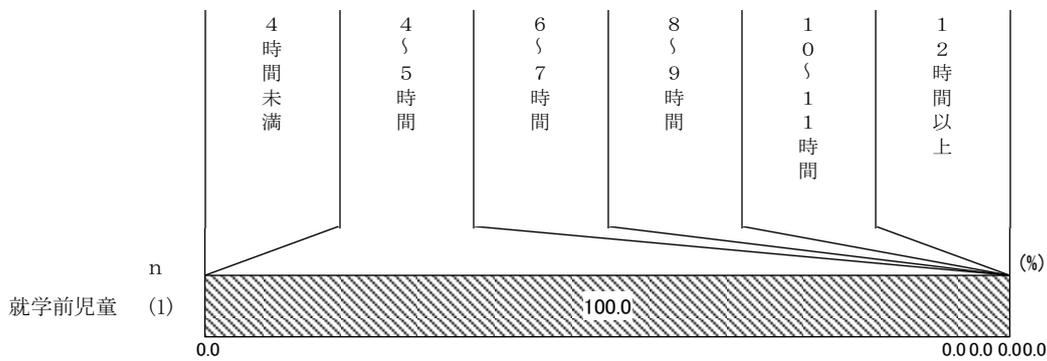
※該当する口内には数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。



パートタイム、アルバイト等での父親の希望就労日数（1週当たり）



パートタイム、アルバイト等での父親の希望就労時間（1日当たり）

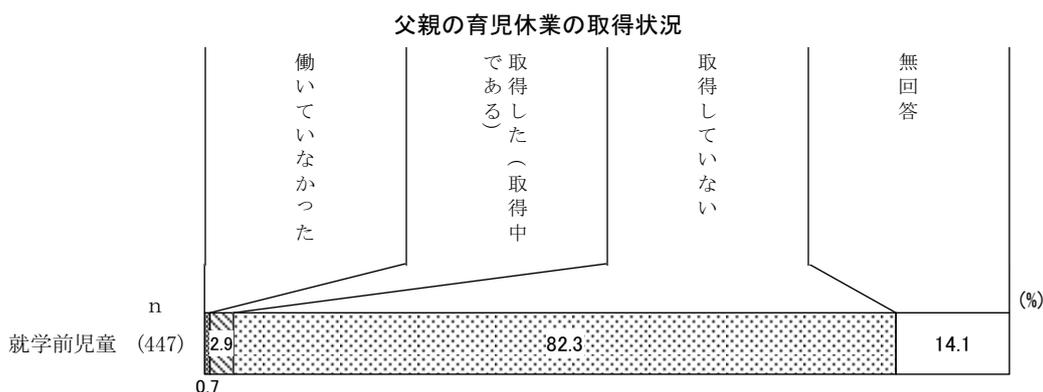
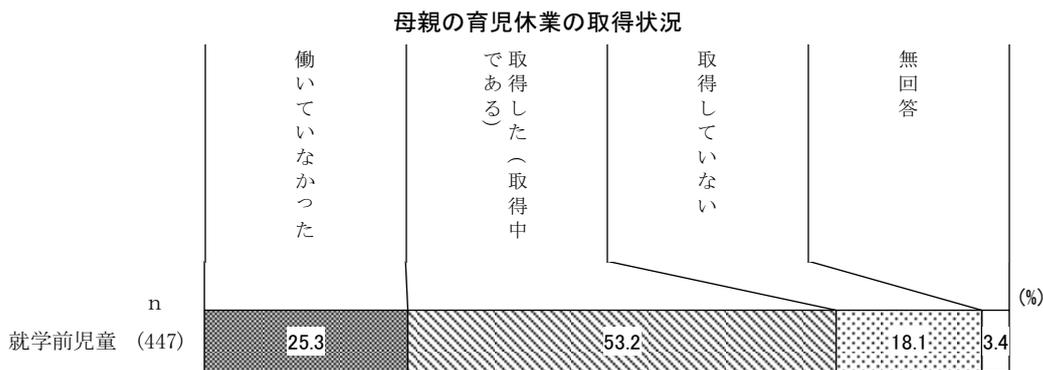


(3) 育児休業制度の利用状況

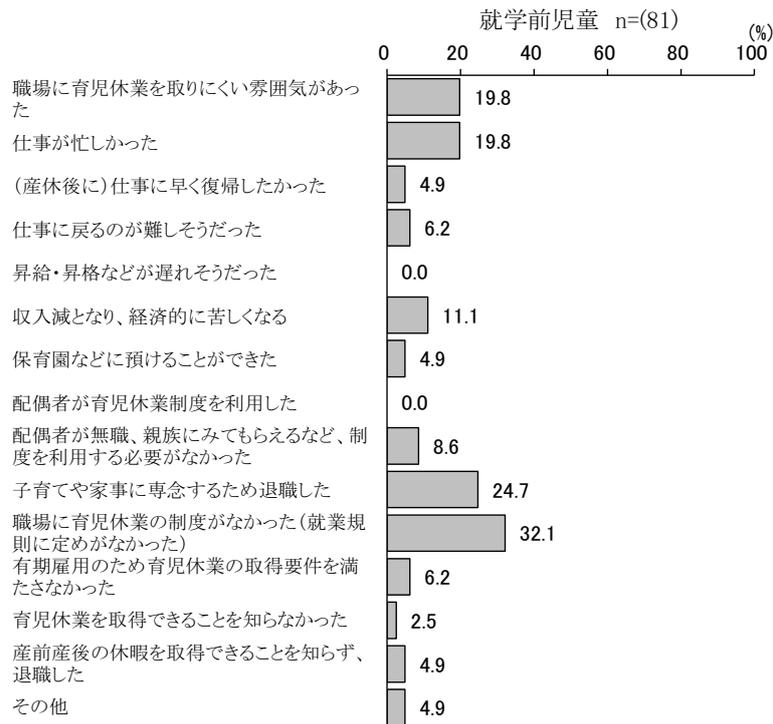
- 育児休業の取得状況をみると、母親は「取得した(取得中である)」が53.2%と、父親(2.9%)を大きく上回っている。一方、父親は「取得していない」が82.3%と圧倒的に多い。
- 育児休業を取得していない理由をみると、母親は「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(32.1%)、「子育てや家事に専念するため退職した」(24.7%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」(ともに19.8%)の順になっている。一方、父親は「配偶者が育児休業制度を利用した」(41.0%)、「仕事が忙しかった」(37.2%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(30.4%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(28.8%)の順になっており、母親の理由と順位に違いがみられる。

【就学前児童 問27】

宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
 (母親、父親のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)
 また、取得していない方はその理由を下記から番号を選んで□内にご記入ください。



母親が育児休業を取得していない理由



父親が育児休業を取得していない理由

